中2 歴史 近世 穴うめ（20問）　版Iの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 市の税を免除し、座の特権をなくした政策を（　　）という	楽市・楽座 （楽市楽座・楽市令 でも正解）
(2) 天下統一のころの豪華で力強い文化を（　　）という	桃山文化 （安土桃山文化 でも正解）
(3)（　　）の船隊が初めて世界一周をなしとげた	マゼラン
(4) イタリアから始まった、古代の文化を学び直す動きを（　　）という	ルネサンス （文芸復興 でも正解）
(5) 1549年に日本にキリスト教を伝えた宣教師は（　　）だ	フランシスコ・ザビエル （ザビエル でも正解）
(6) 島原・天草一揆が起きたのは（　　）である	1637年
(7) 大名が1年おきに江戸と領地を行き来する制度を（　　）という	参勤交代
(8) 東南アジア各地に日本人が移り住んでできた町を（　　）という	日本町 （日本人町 でも正解）
(9) 江戸時代に朝鮮との外交や貿易の仲立ちをしたのが（　　）だ	対馬藩 （宗氏 でも正解）
(10) 1603年に征夷大将軍となり江戸幕府を開いたのは（　　）だ	徳川家康
(11) 8代将軍が定めた裁判の基準となる法律を（　　）という	公事方御定書
(12) 1825年に外国船を打ち払うよう命じたのが（　　）である	異国船打払令 （外国船打払令・無二念打払令 でも正解）
(13) 働き手を作業場に集めて分業で製品をつくるのが（　　）だ	工場制手工業 （マニュファクチュア でも正解）
(14) 都市の人々が米を買い占めた商人の家をおそうのが（　　）だ	打ちこわし （打毀し でも正解）
(15) 江戸時代の商工業者がつくり、営業を独占した組合が（　　）だ	株仲間
(16) 19世紀半ばに天保の改革を行った老中は（　　）である	水野忠邦
(17) 生類憐みの令を出した5代将軍は（　　）である	徳川綱吉
(18) 町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだのが（　　）だ	寺子屋
(19) 俳諧を芸術に高め『奥の細道』を書いたのは（　　）である	松尾芭蕉
(20) オランダ語を通じてヨーロッパの学問を学ぶことを（　　）という	蘭学